

謹賀新年 ききょう苑通信



発行日
2017年1月1日
第3号

発行：医療法人社団 松和会 介護老人保健施設
「ききょう苑」
〒259-1126 神奈川県伊勢原市 沼目 6-1237
TEL: (0463) 92-8101 ✉ kikyoen@mtnet.jp

ききょう苑秋祭り開催

11月6日(日) 秋晴れにも恵まれ、「ききょう苑秋祭り」を無事、開催することができました。

模擬店・カラオケ大会・看護の知識コーナー・リハビリの体験コーナーを出店しました。

模擬店では、やきそば・やきとり・フランクフルト・豚汁・おにぎり・原宿ドッグ・駄菓子販売し、全ての品が完売するほど大盛況でした。入所者からは、「やきとりの鶏肉が柔らかくて美味しかった」「フランクフルトは外がパリパリで中が柔らかくて美味しかった」「豚汁の味付けがちょうど良かった」との声がたくさん聞かれました。また、「来年も食べたいな」という言葉もあちこちで聞かれ、楽しみに待っている様子も見られ、職員も嬉しい気持ちになりました。



「そよ風ハウス」のバザーも毎年楽しみにしている入所者が多く、お手頃価格で購入した洋服を嬉しそうに教えてくれたり、手作りアクセサリーを購入した物を見せて下さいました。

ご利用者様家族も多数来苑され、ご家族と一緒に過ごされたり、職員と楽しめるなど、皆様がそれぞれの時間を「ききょう苑秋祭り」で有意義に過ごされたようです。

地域の皆様にもたくさん来苑いただきました。日々、地域の皆様に支えられていることをあらためて実感し、今後も地域に密着した施設でありたいと再確認しました。



カラオケ大会

今回は、「ききょう苑秋祭り」で初めてのカラオケ大会が開催されました。予想を上回る19名の利用者やご家族が参加され、それぞれ自慢の歌声を披露していただきました。

カラオケマシンによる採点で、多くの出場者が、90点台を出す大接戦となりましたが、通所リハビリテーション利用者様のご友人である富田様がみごと95点を出して、優勝されました。



優勝された富田様
おめでとうございます！



皆様の歌声に聴きほれました！



久しぶり旧友との再会も



元嬉くん(10歳)もソーラン節を
元気に歌ってくれました！

歌の合間には、出場者全員からコメントをいただき、温かい雰囲気の中で開催できた事とても嬉しく思っています。

「良かったよ。またやりましょう！」
「あの方が歌うなんて初めて見ました！」
という言葉も聞かれ、楽しいカラオケ大会となりました。



◆リハビリテーション部

訪問リハビリと他部門との関わり

ききょう苑が訪問リハビリテーションを開始してから今年で5年目となりました。今までに延べ80名を超える皆様にご利用いただいています。

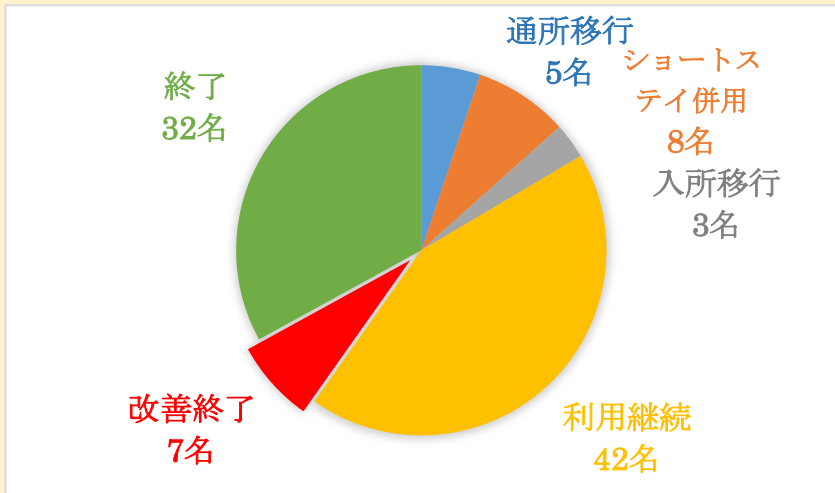
訪問リハビリテーションではご自宅に伺って、実際の生活の場でそれぞれの利用者様の目標に沿った訓練を行っております。

昨年は訪問リハビリテーションによりその目標を達成した利用者様は3名、これにより、今年度の社会参加支援加算の取得施設に認定され、職員も大変喜んでいきます。また、訪問リハビリテーションをご利用いただきながら、さらにききょう苑のショートステイを利用していたり、入所された利用者様もおられます。(下図)

リハビリテーション部のスタッフです♪



ききょう苑では、在宅で利用する訪問や通所リハビリテーション、入所での集中リハビリテーションだけでなく、介護負担軽減に配慮したショートステイなど、幅広く在宅介護を支援するサービスを行っております。ご自宅でお困りのことなどございましたらききょう苑リハビリテーション部の富田洋子までご相談ください！



過去5年間の訪問リハビリテーション利用者 87名の割合



◆看護部より◆

新年というのにこの時期は、インフルエンザ感染の猛威が、とくに、子供や、高齢者では心配の種です。

もちろん、皆さんも、予防接種も行い、その予防に努めておられるでしょう。

もうひとつ、有効な予防法として、「手洗い(下図参照)」と「うがい」があります。

インフルエンザに負けずに、新年を健やかに。

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのばすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で洗い、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

手洗い、うがいをしっかり行って
元気に冬を過ごしましょう！



◆施設長より◆

ご家族の応援が何よりです。

「ききょう苑」の役割は、皆様が今までのように、日常生活が送れるようにお手伝いすることです。そのために、リハビリテーションを軸に、手を動かす(書道、絵手紙、園芸など)、お話をする(頭の体操など)、声を出す(カラオケや合唱など)、体を動かす(ゲーム、運動会など)、美味しい食事をとる(調理、バイキング、喫茶・バーコーナーなど)、お出かけする(散歩、お花見、お祭りなど)など、全職員が力を合わせて、考え、準備しています。

もちろん、それらも、ただ時間を過ごすだけでは意味がありません。医学知識に基づくプロによるリハビリテーションでは、心と体を、必要に応じて、鍛えたり、修復したり、あるいは維持したりするプログラムが組まれています。リハビリテーションは、ただ、体を鍛えるだけではありません。食べる訓練、言語訓練、また、認知を予防、進行を防ぐ訓練とその道のプロが利用者の皆様ひとりひとりのプログラムを考えてくれます。



しかし、いくら素晴らしいプログラムができて、その効果を上げるためには、ご自身の頑張り、努力と強い気持ちが必要なのは言うまでもありません。でも、リハビリテーションの効果を上げるためには、もう1つ大切なことがあります。それは、ご家族の応援です。「ずいぶんできるようになったね」、「もう少しで目標達成だね」、「凄いいね」、など、ぜひ、声をかけてあげてください。それがどれほどの力になるかは、きっとご家族が思われている以上と思います。

皆様は、今までのように、明るく、楽しい時間を家族と過ごしたいと願っています。でも、体が…、面倒をかけるから…、動けないから…と、遠慮され、あの楽しい時間を諦めてしまうのです。どうか、ご家族の応援で、少しでも今までと同じように、皆様をご家族の中に入れてあげてください。

「ききょう苑」は、少しでもそのお手伝いができることを願っています。



へお知らせ

★お正月イベント開催!

「ききょう神社」が今年もききょう苑1階の玄関に設置されました。期間限定ですので、皆様是非ご参拝下さい!



今年のききょう神社です!

★入所イベント

・1月にお正月行事、2月に節分行事を予定しております。詳細は各フロアに掲示致しますので、是非ご確認下さい。



編集後記

明けましておめでとうございます。創刊号、第2号とご好評をいただき、第2号発行後、「利用者の生活を支えるために職員の方々が裏で頑張っている様子を垣間見ることが出来て、楽しく読ませて頂きました。」とあたたかいお言葉も頂きました。4月発行予定の次号も内容の充実を図ってまいります。

寒くなってきましたので、お身体に気をつけてお過ごしください。